

長寿医療における先端医療のありかた

細井孝之

IRYO Vol. 60 No. 12 (780-782) 2006

要旨

高齢者の医療における先端医療のターゲットは多岐にわたり、高齢者総合機能評価によって評価される各要因がそれにあたることが考えられる。「先端医療」の意味を広くとらえ、高齢者にとって全人的にみて最良のアウトカムを得るための工夫が必要であろう。国立長寿医療センター先端医療部は長寿社会における健康長寿を実現するための先端的な医療を開発し、実施することのみならず、国内外の情報を整理して発信することを使命としている。

キーワード 長寿医療 先端医療

高齢者医療における先端医療

現在、「先端医療」とは、遺伝子や幹細胞を用いた医療、ロボット工学を応用した医療などがまず念頭におかれる。その一方で、すでに確立されている医療であってもその応用方法に高齢者に適した工夫がなされれば、広い意味では「先端的」といえるであろう。一般的な意味での先端医療を「ハイテク」とするならば、後者は「ローテク」といえるであろうが、どちらも「先端医療」の重要な側面であろう(図1)。

高齢者医療の特徴は、個々の疾患に関する cure と care を目標とするのみならず、全人的にみても最良のアウトカムを目標とすることが求められている点である。このことは、若年者の医療においてもあてはまることがあるが、若年者においては目の前の疾患以外の部分に関する課題については医療サイドがかかわる必要性が相対的に低いことが大きな違

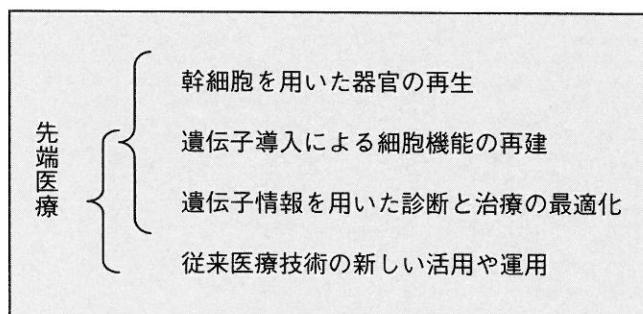


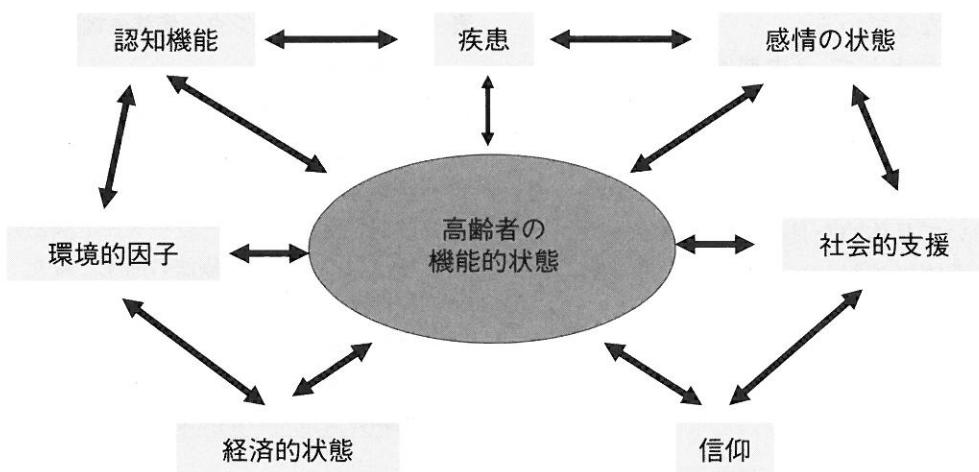
図1 先端医療の考え方

いをもたらす。高齢者の機能的状態に与える要因とその相互関係を考えてみるとこのことが理解されやすい(図2)。これらの多様な要因が、高齢者総合機能評価 comprehensive geriatric assess (CGA) によって検討されるものであり、それぞれが先端医療のターゲットになりうる可能性がある。

国立長寿医療センター 内科先端医療部

別刷請求先：細井孝之 国立長寿医療センター 内科先端医療部 〒474-8522愛知県大府市森岡町源吾36-3
(平成18年7月5日受付、平成18年9月21日受理)

Advanced Medicine in Geriatrics and Gerontology Takayuki Hosoi
Key Words : medicine for longevity, advanced medicine



高齢者の機能的状態は多岐にわたる要因によって決定され、CGAによって評価がされる。また、それらの要因が相互に影響しあっていることも特徴である。これらの要因それぞれが、先端医療の開発におけるターゲットになるであろう。

図2 CGAの構成要素と相互関係：高齢者における先端医療のターゲット

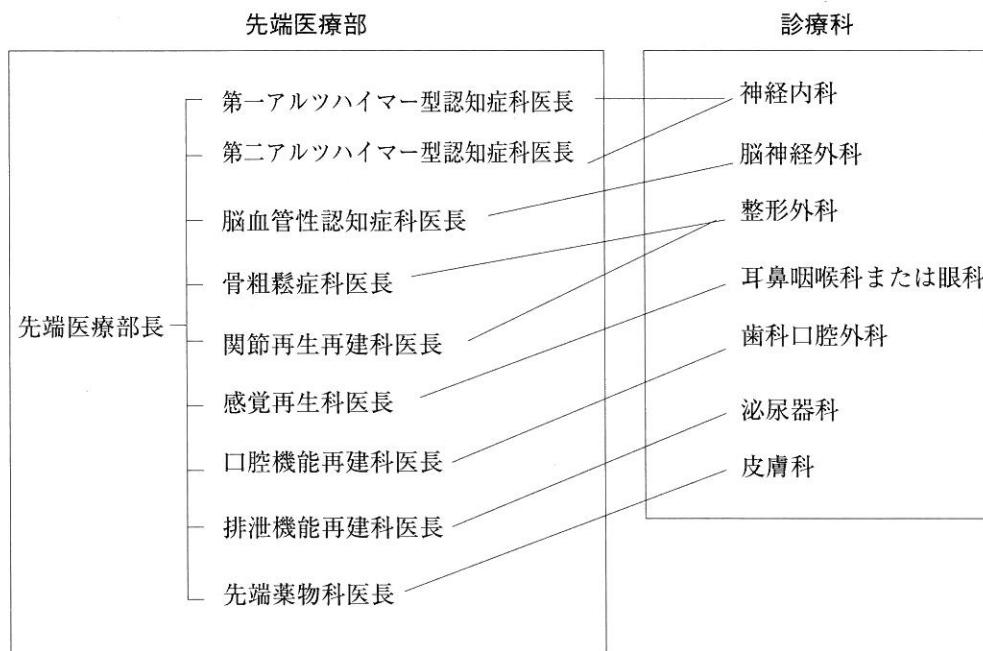


図3 現時点での先端医療部の診療科との関連

国立長寿医療センター病院先端医療部について

国立長寿医療センター先端医療部は長寿社会における健康長寿を実現するための先端的な医療を開発し、実施することのみならず、国内外の情報を整理して発信することを使命としている。先端医療部は、高齢者における主要疾患、すなわち認知症、骨・関節疾患、目、耳等感覚器の障害、摂食・排泄等に対して、早期診断と評価、器官や機能の再生を含めた

先端の医療を行うことを目標に掲げている。また、国立長寿医療センター研究所はもちろんのこと、国内外の研究機関との連携し、基礎研究の成果を臨床に応用することも重要な役割である。

先端医療部の構成と構成員の診療科を図3に示す。先端医療部を構成する医師はそれぞれの診療科に属して診療している。先端医療は診療の第一線で生ずるニーズに即したものである必要があり、当センターの先端医療部と各診療科との関連にはこのよう

なことも背景になっている。

具体的なテーマとして、「中期計画」に掲げられたものは表にあるように多岐にわたる。日常の診療業務を行いながら、確実に遂行するためには相当の努力が必要とされる。それぞれの専門領域において具体的な目標とタイムテーブルを設定し、着実に遂行していくことが望まれる。

表 国立長寿医療センター病院先端医療部のテーマ案
(中期計画より)

-
- ① 認知症の早期診断技術の開発と確立
 - ② 認知症の新しい治療法のトランスレーショナルリサーチ
 - ③ 脊椎骨折の骨セメント等による根治療法の開発と確立
 - ④ 高齢期骨粗鬆症のテラーメード医療の開発と確立
 - ⑤ 排尿障害の新しい治療法の開発と確立
 - ⑥ 口腔機能再生・再建技術の開発と確立
 - ⑦ 幹細胞・組織工学を用いた骨・口腔・感覚器等の再生医療の開発
 - ⑧ 人工臓器を用いた感覚器機能等の再建医療の開発
-

Advanced Medicine in Geriatrics and Gerontology

Takayuki Hosoi

Abstract The targets for advanced medicine in geriatrics and gerontology are numerous and the factors assessed in comprehensive geriatric assessment (CGA) should cover them. Ways need to be devised to obtain the best outcome from the viewpoint of total cure and care of the elderly. The department of advanced medicine in National Center for Geriatrics and Gerontology is going to develop novel ways for successful aging and organize useful information in this field nationwide and internationally.